

ビジネスリーダー論

担当者 千田 直毅

開講時期 前期

単 位 2

●講義の概要

リーダーシップの学説ないし理論と実践を架橋して講義を組み立てる。すなわち、第1に主要なリーダーシップの学説を学習する。第2に実在の経営者のリーダー行動を捉えた視聴覚教材ないしケース教材を用いて、リーダーシップの学説の実践的意味合いについて学ぶ。第3に、受講生自身がリーダーシップを発揮して自律的にキャリアを開発していくよう、これまでの一皮むけた経験を振りかえりながらリーダーシップの持論を形成し、キャリア目標（True North）を定め、その実現に向けた行動計画を練る。

●講義の到達目標

受講生が将来ビジネスリーダーとして活躍できるよう、リーダーシップの学説を自身のリーダーシップと対比させながらリーダーシップの持論を形成することを目標とする。あわせて将来の各自のキャリア目標に応じて、どのようにリーダーシップを強化していくのかを考え、具体的なロードマップを作成する。

●講義計画

- 第1回：リーダーシップとマネジメントの相違
- 第2回：官僚制とリーダーシップ
- 第3回：サバイバルゲーム
- 第4回：グループダイナミクス
- 第5回：リーダーシップの不動の二軸とコンティンジェンシー論
- 第6回：シェアド・リーダーシップ
- 第7回：変革型リーダーシップ
- 第8回：制度的リーダーシップ
- 第9回：企業変革のリーダーシップ
- 第10回：心理的契約とリーダーシップ
- 第11回：異文化コミュニケーション
- 第12回：オーセンティックリーダーシップ
- 第13回：キャリア開発とリーダーシップ開発
- 第14回：一皮むけた経験とリーダーシップの持論（発表）
- 第15回：私のTrue Northとリーダーシップの旅（発表）

●成績評価基準と方法

中間課題レポート（40％）と期末課題レポート（60％）により評価する。中間課題レポートはケースに対するレポートを課す。

●テキスト又は参考文献

〈参考文献〉

- ①石川 淳『シェアド・リーダーシップ』中央経済社, 2016年
- ②小野善生『最強の「リーダーシップ理論」集中講義』日本実業出版社, 2013年
- ③金井壽宏『リーダーシップ入門』日本経済新聞社, 2005年
- ④ビル・ジョージ（小川孔輔監訳・林麻矢訳）『True North リーダーたちの羅針盤』生産性出版, 2017年

●受講上の留意点

- ・講義はインタラクティブに行うので、他の受講生との討議に積極的に参加し発言することが必要。各回の講義ごとにパワーポイントで作成した資料を配布するが、事前に上記参考文献を一通り読んでおくことが望ましい。
- ・受講生の実態・実状に応じて、講義の進め方や内容を若干変更する場合があります。